

★第1回「Salon De 大学コンソーシアム大阪」 開催報告★ 学生と創る大学広報－「大学を愛し、誇りに思う学生の育成と活躍の場の提供」について考える－

第1回「Salon De 大学コンソーシアム大阪」（愛称：サロン・ド・コンソ）は、来賓に実践大学（台湾）の陳学長、台北駐大阪経済文化弁事処の羅文教課長をお招きし、13大学29名（うち会員外3大学3名）の方に参加いただきました。

最初に、塩川氏（大阪市立大学 文学研究科 客員教授・大学コンソーシアム大阪 SD 研修コーディネーター）より、サロン・ド・コンソの主旨と、昨年、海外 SD 研修（台湾・台北）の際に視察させていただいた実践大学の皆様が来阪されることを機会ととらえ、ご講演いただくことになった旨の説明がありました。



冒頭に大学コンソーシアム大阪 荒川理事長（大学市立大理事長兼学長）より、開会の挨拶がありました。

続いて、畑中氏（大阪学院大学 国際センター 派遣留学コーディネーター）より、昨年実施した海外 SD 研修（台湾・台北）について報告がありました。



続いて、吳霽儒氏（実践大学 国際事務處 国際交流組 組長）に、『学生と創る大学広報—「大学を愛し、誇りに思う学生の育成と活躍の場の提供」について考える—』と題した基調講演がありました。

スチューデント・アンバサダーのシステムが学生や大学にとっていかに有益なものであるかを、実践大学の具体例を示しながらお話いただきました。

講演時には、日本から実践大学に留学し、スチューデント・アンバサダーを務める学生2名が、通訳、アシスタントとして活躍しました。



講演の最後には、日本側から台湾側へ記念品が贈呈され、羅氏より来賓代表のご挨拶をいただきました。





プログラム終了後、会場を移し、懇親会が開催されました。

後援者や参加者間で、積極的に意見交換を行い、ネットワーク構築の良い機会となりました。

以上